

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年3月15日(2022.3.15)

【公開番号】特開2020-146353(P2020-146353A)

【公開日】令和2年9月17日(2020.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2020-038

【出願番号】特願2019-48319(P2019-48319)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月7日(2022.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者に有利な特別遊技状態にするか否かの判定を行う判定手段と、

所定の表示手段を用いて、所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

前記判定の結果に基づいて、所定の演出図柄を前記表示手段に変動表示する変動演出を実行可能であるとともに、前記変動演出において、前記特別遊技状態になる可能性が高いことを示唆するリーチ演出を実行可能であり、

前記変動演出において、前記演出図柄の変動表示を制限する制限演出を実行することがあり、

前記変動演出において前記制限演出が実行された場合、当該変動演出において、変動表示が制限された前記演出図柄の態様を、前記リーチ演出に発展する可能性があることを示唆する態様であって、リーチの成立を報知する特殊の態様に変化させるときと、変動表示が制限された前記演出図柄の態様を前記特別遊技状態にならないことを示唆する非特別の態様に変化させるときと、がある、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本明細書に開示される遊技機は、遊技者に有利な特別遊技状態にするか否かの判定を行う判定手段と、所定の表示手段を用いて、所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、前記演出実行手段は、前記判定の結果に基づいて、所定の演出図柄を前記表示手段に変動表示する変動演出を実行可能であるとともに、前記変動演出において、前記特別遊技状態になる可能性が高いことを示唆するリーチ演出を実行可能であり、前記変動演出において、前記演出図柄の変動表示を制限する制限演出を実行することがあり、前記変動演出において前記制限演出が実行された場合、当該変動演出において、変動表示が制限された前記演出図柄の態様を、前記リーチ演出に発展する可能性があることを示唆する態様であつ

50

て、リーチの成立を報知する特殊の態様に変化させるときと、変動表示が制限された前記演出図柄の態様を前記特別遊技状態にならないことを示唆する非特別の態様に変化させるときと、がある、ことを特徴としている。

10

20

30

40

50